

# 運送業界の健康支援を生きがいに



## 144 全ト協のHPで公開募集中

5月の本紙連載では、OCHISが受託している全ト協の「運輸ヘルスケアナビシステム」の実証実験募集について、全ト協よりも少し早めに紹介させていただきましたが、全ト協からは6月2日付のHPと、同5日付の「広報とらつく」にて募集要領が公開されましたので、改めてご案内します。

募集は40社・約2000人を予定していますが、すでに全国から続々とお問い合わせ、お申し込みを頂いております。「拠点ごとバラバラの健診結果フォーマットや基準値を、どうにかして統一したかった」「健診後のフォローは手つかずであった」などという事業者さまからの感想も一緒です。

そこで、今月はナビシステムの四つの特徴と、その活用法を紹介しましょう。

①「死の四重奏」該当者が一目で見えます。

脳・心臓疾患を発症しやすい、4項目異常値を併せ持つハイリスク者には、赤星を四つ並べて表示しています。(当法人調査では5%が該当)↑四重奏の該当者は、労災の無料二次健診を受けることができます。【特典】があります。

②再検査・精密検査対象者は赤●で表示しています。

赤●のついた人には、受診指導が必要です。ちなみに▲(紫)の人は、経過観察や

生活習慣の改善が必要な方です。

③睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査の結果を並べて表示しています。

SASと生活習慣病は「タマゴとニワトリの関係」です。☆が四つ並ぶ人はSASでも重症(D+)というのが一般的です。こうして一連になると、ハイリスク者が一層鮮明に浮上します。

④運輸に特化した情報が付記できます。

事故歴、労働時間、MCI(軽度認知障害)、適性検査結果などの情報が事業者様の任意で入力できます。

◆全ト協のマニュアルとリンク

「ハイリスク者が見えた後の対応」については、全ト協の「トラック運送事業者のための健康起因事故防止マニュアル」(作成OCHIS)にて説明していますので、ぜひ合わせて活用し、受診後のフォローを徹底してください。

《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》  
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表  
国土交通省健康起因事故対策協議会委員

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>

(次回は7月10日に掲載)